

不正アクセスによる個人情報漏洩の可能性及びスパムメールの送信に関するお詫び

平成 31 年 3 月 1 日
公立大学法人島根県立大学

本学が管理する学内メールシステムにおいて、学生 1 名のメールアカウントのパスワードが窃取され、不正アクセスを受ける事案が発生しました。アカウントを停止するまでの間、攻撃者が当該学生のメールボックスやアドレス帳（全学生教職員の氏名、メールアドレス等が記載）の閲覧が可能な状態となっており、また、当該アカウントからは学外にスパムメールが送信されました。

現時点では、個人情報を悪用されて被害を受けたとの報告は確認されておりませんが、関係者の皆様に多大なご心配をおかけする事態を招いたことを深くお詫び申し上げます。

1. 概要

平成 31 年 2 月 4 日から 2 月 26 日にかけて、本学学生のメールアカウントが不正アクセスを受け、このアカウントから 38,006 件のスパムメールが送信処理されました。うち、31,464 件はエラーで送られず、6,542 件が外部へ送信されました。

2. 経緯・対応状況

- ・平成 31 年 2 月 26 日 17:00 頃、システム担当者がメールシステムからのアラート（2 月 23 日受信）に気づきました。
- ・アラートで指摘されたアカウントのログを調査したところ、大量のメールが送信されていることを確認しました。
- ・すぐにアカウントを停止し、当該学生への連絡と聞き取りを行いました。（現時点では当該学生のフィッシングサイトへのアカウント入力、ウィルス感染は確認されておりません。）
- ・調査の結果、スパム送信は平成 31 年 2 月 4 日から始まっていたことが分かりました。
- ・全学生教職員に対し、電子メールのパスワード変更や不審なメールに関する注意喚起等を行いました。
- ・島根県警察本部に情報提供し、今後の対応等について相談しました。
- ・スパムメールの危険度及び不正アクセスを受けた原因等について、引き続き調査中です。

3. 攻撃者が閲覧することができた情報

- ①学内関係者のアドレス帳（名前、役職、所属・学年）2,476 件
- ②学内関係者と当該学生との間で送受信されたメール 148 件

4. 今後の対応

技術的な情報セキュリティ対策の更なる強化を図るとともに、全学生教職員に対し、学内研修等により情報セキュリティ対策についての指導を徹底いたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

島根県立大学メディアセンター

電話 0855-24-2205（受付時間 土日祝日を除く平日 9:00～17:00）